

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日 平成 30 年 4 月 20 日

Table with columns for 事務事業名 (量水器取付交換事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (事務事業No. 050601000603), 所属課 (水道課), and 事業期間 (単年度繰返し (平成27年度~)).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about meter replacement and business procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標), showing data for 28, 29, 30, 31, and 32 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 28, 29, and 30 fiscal years, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (人件費).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 fiscal years, including a list of main activities (主要事業) such as '市長マニフェスト'.

事務事業名	量水器取付交換事業	事務事業No.	50601000603	所属課	水道課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 水道量水器は、計量法で適正な計量の実施を確保することを求められており(第1条)、計量法施行令18条で有効期限が8年と定められていることに 対応する量水器を設置しなければならない。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	計量法で定められている有効期限8年以内の量水器の取替え及び不具合が発生した量水器を交換することで正確な使用量及び 料金が把握でき、基本事業の上水道の安定供給及び施設の適正管理に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市が水道使用者に貸与しているものであり、適正な量水器を設置することにより、適正な料金を決定することができるので市 が行うのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	取替作業については、業務委託により行っているが、取替が必要な量水器について、全て取替えているので向上の余地はな い。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止すると適正な料金決定ができず、計量法に違反することになる。 計量法に定められているため、廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他の事務事業との連携は図れない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	適正に実施しており、削減できない。 取替作業については、市の水道組合に委託しており削減の余地はない。 委託料についても、公共工事労務単価に基づいて算定している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	全受益者に関する業務であり公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 計量法で8年と定められている量水器の法定交換及び不具合の発生(凍結により破損した ものやガラス面の曇りで検針が困難なもの等)した量水器を取替える事業である。 法定交換については、年間1,500~2,500で、岩瀬・真壁・大和の水道協会に委託して いたが、平成29年度より桜川市上下水道組合に委託となった。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---